社協だより ふれあい

No.61

2020年
5月15日

〒039-2371
青森県上北郡六戸町大字犬落瀬字柴山3-9
電 話 0176-55-2943
FAX 0176-55-2947
メール rokunohe.shakyo.03@gaea.ocn.ne.jp
ホームページ http://www.rokunohefukusi.jp/

一緒にあそんでくれてありがとう

１月に六戸小学校１年生30人が町老人福祉センターを訪れ、センターを利用している高齢者と一緒に昔あそびを体験しました。メンコやあやとり、けん玉にお手玉など楽しいひとときを過ごしていました。遊んでくれたお礼にと、子ども達が肩もみをすると、高齢者の顔がほころんでいたのが印象的でした。

主な内容

▶事業計画／収支予算ほか ・・・・・Ｐ２～Ｐ３
▶福祉安心電話／救急医療情報キットほか ・Ｐ４
▶青森しあわせネットワーク ・・・・・・・Ｐ５
▶各行事報告 ・・・・・・・・・・・・・・Ｐ６
▶福祉団体会員募集／寄付報告 ・・・・・・Ｐ７
▶６月の予定／脳トレクイズ ・・・・・・・Ｐ８

社協だよりは皆さんからいただいた社協会費と
赤い羽根共同募金の配分金により発行しています。

六戸町社協 検 索

令和２年度事業計画　**基本理念**

～ みんなで支え合い　すべての人が　安心して暮らせる町づくり ～

基本方針

我が国は、人口減少・超高齢社会を迎え地域社会の様相は大きく変容し社会的孤立や経済的困窮等、虐待や権利侵害の問題等地域における生活・福祉課題は複雑化・多様化しています。

このような状況の中、国は様々な課題を抱える人を地域で支えるために、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく「地域共生社会」の実現に向けた取組を進めています。

これをうけ、全社協では「社協・生活支援活動強化方針（第２次アクションプラン）を策定し、「あらゆる生活課題への対応」「地域のつながりの再構築」を強化方針の柱として位置付けました。

このため、社会福祉協議会は住民を主体とした地域福祉推進の中核的な組織として、地域のあらゆる生活課題を受け止め、地域を基盤として解決につなげる支援やその仕組みづくりを行っていく必要があります。

本会では、生活支援体制整備事業、共助のための基盤づくり事業、福祉事務所未設置町村による相談事業を推進し、地域全体で支える力を再構築し、互助・共助の取り組みを育みつつ、対象者の状況に応じて分野を問わず包括的に相談・支援を行っていく体制を構築していきます。

更に、第２次活動指針の計画期間が令和２年度を以って終了することから、町地域福祉計画と計画期間を合わせ、地域福祉施策の動向を踏まえつつ、地域社会の変化と多様化・複雑化している福祉課題・生活課題の対応に向け、社協の事業活動の方向性、果たすべき役割をまとめた「第３次活動指針」を策定し、社協の事業・活動の更なる推進を図っていきます。

地域福祉の中核を担ってきた社協への期待は大きく、法人としての役割が問われてきている中で、運営基盤の強化を図りながら複雑且つ深刻化する諸問題や課題解決に向けて、地域住民、ボランティア、福祉団体、社会福祉法人、関係機関等と連携・協働し、役職員が一丸となって本会の基本理念である「みんなで支え合い　すべての人が　安心して暮らせる町づくり」の実現に向け邁進していきます。

住民参加で福祉のまちづくり

- 六戸町生活支援体制整備事業
- 緊急通報システム「福祉安心電話サービス事業」
- ふれあい・いきいきサロン
- 生活困窮者支援等のための共助の基盤づくり事業
- 生活支援パートナー派遣事業
- 福祉団体への支援
- 介護者支援事業
- 広報誌・情報誌の発行
- ホームページの運営
- 六戸町社会福祉大会
- 社協まつりの開催
- 住民座談会の開催
- 調査・研究
- 援護活動事業

自立した暮らしを支えるサービスの充実

- 在宅介護用器具貸付事業
- 移送サービス事業
- 救急医療情報キット配布事業
- いきいきグラウンド・ゴルフ大会
- 元気はつらつ教室
- 町老人福祉センターの運営
- いきいき創作教室
- フリーウォーキング
- 居宅介護支援事業
- 訪問介護事業
- 総合事業訪問型サービス
- 訪問型サービスA
- 保険外訪問介護事業
- 障害者福祉サービス事業

人と人とがつながる町づくり

- 出前福祉講座
- ボランティアセンターの運営
- 収集ボランティア
- 災害ボランティア研修会の開催
- 被災地への職員派遣
- 災害福祉支援チームの養成

人を大切にし、柔軟に対応できる仕組みづくり

- 心配ごと相談所
- 福祉総合相談
- 生活困窮者自立相談事業
- 日常生活自立支援事業
- 福祉サービス苦情解決体制
- 生活福祉資金貸付事業
- たすけあい資金貸付事業
- 高額療養費資金貸付事業

民間性を発揮した社協づくり

- 理事会、評議員会、監査会、委員会の開催
- 自己評価の実施
- 役員等研修
- 青森しあわせネットワーク事業
- 町内社会福祉法人との連携
- 社協会員の募集
- 赤い羽根共同募金運動
- 実習生・職場体験の受け入れ

令和２年度　収支予算額　90,356,000円

●収支予算書●

収入科目	予 算 額	支出科目	予 算 額
会費収入	３，０１２，０００	人件費支出	６０，７６６，０００
分担金収入	３９，０００	事業費支出	７，６９３，０００
寄付金収入	１９８，０００	事務費支出	７，０５２，０００
経常経費補助金収入	２５，３６７，０００	短期借入金償還金支出	１，０００，０００
受託金収入	１７，７１８，０００	貸付事業支出	１，５００，０００
貸付事業収入	１，５００，０００	分担金支出	１０，０００
事業収入	９３９，０００	助成金支出	２５５，０００
介護保険事業収入	２９，２０３，０００	負担金支出	７８６，０００
障害福祉サービス等事業収入	６３６，０００	固定資産取得支出	２７６，０００
短期借入金収入	１，０００，０００	基金積立資産支出	３００，０００
受取利息配当金収入	６，０００	積立資産支出	８，６８４，０００
その他の収入	１２２，０００	その他の活動による支出	１，７３４，０００
積立資産取崩収入	２，８００，０００	予備費	３００，０００
前期末支払資金残高	７，８１６，０００		
合　　計	９０，３５６，０００	合　　計	９０，３５６，０００

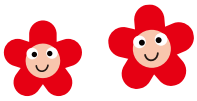
◆社協会費と会員◆　～　会費納入のお願い　～

会員とは六戸町社会福祉協議会の趣旨や活動にご賛同いただき、会費を納入くださった世帯や個人・団体が会員となります。

いただいた会費は、当協議会が推進する地域福祉のための貴重な財源となっており、会員のみなさまにとっても資金面で活動を支援していただくことで、福祉のまちづくりへの貢献につながっています。

６月～７月にかけて一般会員のお願いに町内会の区長または班長がお伺いします。その際はご協力くださるようお願いいたします。

【会費の種類】



- 一 般 会 員　１，０００円／年額
- 賛 助 会 員　２，０００円／年額
- 特別賛助会員　５，０００円／１口
- 団 体 会 員　１０，０００円／１口

◆福祉サービス苦情相談窓口◆　あなたのご意見・ご要望にお応えします

六戸町社会福祉協議会では福祉サービス苦情解決相談窓口を設置し、当協議会が実施する事業や福祉サービスに対し、町民の皆様からのご要望や苦情など適切に対応し、よりご満足いただける福祉サービスを提供するために努力しております。また、職員の対応やサービスに関する「ご意見」「ご要望」「苦情」などございましたらご相談ください。

また、福祉サービス苦情解決第三者委員に直接お話をしていただくこともできます。福祉サービス苦情解決第三者委員は、苦情解決にあたって、公平中立な立場で助言・指導をいただく方々です。

●相談受付窓口　☎５５－２９４３

苦情解決責任者　事務局長　下　田　　亨

苦情受付担当者

係　　長　佐　藤　範　子

サービス提供責任者　飛　内　理　香

●福祉サービス苦情解決第三者委員

田　澤　孝三郎　☎５５－２５７８

山　内　一　隆　☎５５－２５９７

保土澤　初　子　☎５５－２１４７

六戸町社会福祉協議会で解決できない苦情は、青森県社会福祉協議会に設置されている「青森県運営適正化委員会」に申し立てることができます。青森県運営適正化委員会は、福祉サービスを利用されている方の苦情を解決するため、法律の定めにより設置された公平中立な機関となっております。

青森県運営適正化委員会　☎０１７－７３１－３０３９

24時間安心を 緊急通報装置 福祉安心電話

福祉安心電話とは、電話回線を利用し、ボタンを押すだけで24時間緊急を知らせることのできるシステムです。近隣住民や関係機関が連携し、日常の困りごとや病気・障害などによる不安を解消し、設置者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援していきます。

また、付属として熱を感知し自動で通報してくれる火災報知器も設置されます。

- **設置対象**：ひとり暮らし高齢者、高齢世帯等
- **設置費用**：無　料
- **必要な物**：電話回線、固定電話
  ※携帯電話では設置できません
- **協 力 員**：民生委員を含めた近隣住民４人

救急医療情報キット

～万が一に備えたい、あなたの命を守るバトン～

高齢者の安心・安全を守る取り組みとして、希望する70歳以上のひとり暮らし、または高齢者のみの世帯に対し「救急医療情報キット」を配布しています。

救急医療情報キットは、もしもの事態に備え、かかりつけ医療機関・持病・緊急時の連絡先等の情報をシートに記入し、専用の容器に入れ、保管しておきます。

緊急要請をした場合など、駆け付けた救急隊員が救急医療情報キットから情報を得ることができ、迅速な対応を行うことができます。

希望される方は、社会福祉協議会または、地区の民生委員にご連絡ください。

見守りサポーター

近年、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯等が年々増加しています。

六戸町では住み慣れた地域で安心して暮らすために、地区の民生委員を中心とした、「見守りサポーター」を配置しています。

見守りサポーターには、日々の生活の中からいつもと様子が違うなど、少しの変化に気づいてもらう役目をお願いしています。

住民がお互いを気にかけることで、地域のつながりの輪が広がってきます。

在宅介護用器具貸付事業

在宅で介護している世帯の経済的及び介護負担の軽減を図るために、車いすとギャッジベットを無料でお貸ししています。

電話にて在庫をご確認ください。

地域で学ぼう出前福祉講座

体験活動や講話を通じて福祉について学べる機会を提供するため、社協職員や外部講師を派遣します。

企業・町内会・学校・各種団体等で福祉教育に興味がある際は、お気軽にお申込みください。

【メニュー】

・車いす体験　・高齢者疑似体験　・手話体験
・視覚障がい体験　・点字体験　・防災講座
・ボランティア講話　・DVDの貸し出し

【時　　間】 おおむね１時間～１時間半程度
【場　　所】 依頼側で準備をお願いします

夏！ボランティア体験2020 中止のお知らせ

今年の「夏！ボランティア体験」は新型コロナウイルス感染症拡大を考慮し、中止することといたしましたので、お知らせします。

社会福祉法人の社会貢献活動

青森しあわせネットワーク

青森県内の社会福祉法人が連携し、既存の制度やサービスでは対応できない課題に迅速に対応するために、支援が必要な人を早期に把握し、具体的な解決を図ることによって、社会福祉法人の使命を積極的に果たしていこうという活動です。

No.	活　動	内　容
1	総合相談（トータルサポート）	制度の狭間の生活困窮などのさまざまな課題を抱える方に対し、関係機関や地域住民と連携し、既存の制度や機関に適切につないだり、自立を支援のための総合的な相談支援を行います。
2	経済的支援（ライフサポート）	既存の制度やサービスによる支援が受けられず、緊急性を要する生活困窮状態にあり、援助の実施により一定の生活の安定が見込める場合に、概ね５万円を限度とした経済的援助を現物支給で行います。
3	食糧等の提供（フードサポート）	既存の制度やサービスによる支援が受けられず、緊急性を要する生活困窮状態にある方に対し、食糧等の提供を行うために、必要な食糧等を備蓄し、必要に応じて提供を行います。
4	就労体験･社会参加活動の提供（ワークサポート）	就労に不安のある方や、就労や社会参加活動を希望する方に対し、社会福祉法人の機能を活用し、就労の場や社会参加活動の機会を提供します。
5	その他	既存の制度やサービスでは対応できない新たな課題に対し、社会福祉法人が有する資源を活用し、社会参加や生きがい支援、居場所づくり、中間的就労や就労支援、子どもの学習支援や育児支援などその他必要な活動を行います。

県内で行われた相談事例紹介

Aさん（２０代　女性）

本人の状況　母子家庭、多重債務、経済的困窮
世帯の構成　本人と子２人（うち１人は乳児）
関わった機関　法テラス、行政、社協
相談内容　元夫からの養育費や子の手当金で生活しているが、借金の返済や子の保育園の入園準備にお金がかかった。生活費にあてるだけのお金がなく、家賃や公共料金を滞納してしまった結果、アパートからの退去を迫られている。

小さな子がいるため、早急にミルクとおむつ、食料の現物支給を行うとともに、滞納していた家賃と公共料金を支払うことで、退去の心配はなくなりました。

多重債務の解消のため、法テラスへの法律相談へつなぎました。

その後、本人もパートで働きに出て、収入が安定し、現在は育児や仕事に安心して取り組んでいます。

Bさん（８０代　男性）

本人の状況　単身高齢者、経済的困窮
世帯の構成　独居（家族と別居中）
関わった機関　行政、社協、地域包括支援センター
相談内容　年金を受給しているものの、金銭管理が難しく、知人の借金の肩代わりをしたり、訪問販売で高額な買い物をしたことで、手持ち金がわずかとなってしまった。食事も１日１食しか食べておらず、入浴も何日もしていない。

すぐに食べられる食料を現物支給したほか、施設を利用して入浴を行いました。

また、家にゴミがたまっていたため、地域包括支援センターの職員やボランティアによるゴミ出しを支援しました。

その後、成年後見制度の利用開始手続きを行い、金銭管理の不安もなくなりました。

六戸町内の青森しあわせネットワーク参加法人

★社会福祉法人楽晴会　★社会福祉法人もみじ会
★社会福祉法人六戸町社会福祉協議会

●問い合わせ先　六戸町社会福祉協議会　☎５５－２９４３まで

地域支え合い講座 助け合いゲーム

１月22日（水）町就業改善センターにおいて、「地域支え合い講座」を開催し、35名がカードを使った助け合いゲームで支え合いの仕組みを体験しました。

このゲームは、６つのグループに分かれた参加者が、困りごとカードを３枚選び、困った理由を話しグループの中から支援してくれる人を探します。中には支援してくれる人が見つからないものもあり、支援が必要な人をグループでどうしたら解決できるのかを話し合います。

このゲームでは地域の中で、お互い「支え」「支えられている」ことを知ってもらうことができました。

福祉安心電話 ネットワークのつどい

２月３日（月）町老人福祉センターにおいて、「福祉安心電話ネットワークのつどい」を開催しました。

このつどいは、設置者と協力員・民生委員が交流を深め、互いに支え合える仕組みをつくろうと昨年から開催しているもので35名が参加してくれました。

今年は十和田警察署の宇部交通課長にお越しいただき、高齢者が交通事故にあわないために気を付けることをお話していただきました。

午後は町保健師による元気はつらつ体操で、運動と頭の体操でリフレッシュしてもらいました。

介護教室 近未来の介護体験

３月２日（月）町老人福祉センターにおいて、「介護教室～近未来の介護体験～」を開催し16名が参加しました。

指導してくれたのは介護老人保健施設しもだのリハビリテーション科の職員10名で、歩行改善を図るためのアシストロボットや「介護する側」と「介護される側」の視点がわかるVR（ヴァーチャルリアリティ）体験、認知症と転倒予防を目的とした器具スクエアステップを実際に装着した歩行などを体験しました。

参加者からは「普段自分に分からないことが体験でき、今後の介護に活かしていきたい」と感想が聞かれました。

福祉団体から会員募集のお知らせ

問合せ先　福祉団体事務局（社協内）
☎55－2943

六戸シニアクラブ

六戸シニアクラブは、仲間づくりを通じて、これまで培った知識や技術を活かし、地域における社会参加を促進し、高齢者の生きがいと健康づくりを図ることを目的とした、高齢者の自主組織です。

入会を希望する方、また、新たにクラブを結成したい方などお気軽にお問合せください。

●**対 象 者**　町内在住の概ね60歳以上の方。
●**年 会 費**　１，０００円～２，０００円
●**活動内容**
・お花見会　・官庁街の草取り
・いきいきスポーツ大会　・湯治の旅
・ボウリング大会　・雑巾寄贈（学校）
・喜楽笑の集い（芸能発表会）

六戸町では１１の単位クラブがあり活動しています。

クラブ名	会長名
柳町鶴亀クラブ	保土澤　定　志
上吉田老人クラブ	山　内　武　雄
長谷いきいきクラブ	小笠原　邦　定
折茂学区シニアクラブ	伊　沢　義　隆
高舘長寿クラブ	岡　田　寛　視
犬落瀬寿楽会	田　中　孝　雄
犬落瀬吉祥会	小比類巻　芳雄
七百康楽会	高　坂　　茂
沖山老人クラブ	沖　沢　和　子
岡沼老人クラブ	佐々木　片　郎
金矢老人クラブ	坂　本　ヒ　デ

六戸町身体障害者福祉会

六戸町身体障害者福祉会は、会員25名で活動しています。身体障害者手帳を交付されている方なら、どなたでも会員になることができます。

一緒に会を盛り上げていきませんか。

●**対　　象**　身体障害者手帳保有者
●**年 会 費**　１，０００円
●**活動内容**
・上十三障害者スポーツ大会への参加
・会員・家族のふれあい親睦会（BBQ）
・会員研修旅行（県内）
・障がい者ふれあいボウリング交流会

六戸町手をつなぐ親の会

六戸町手をつなぐ親の会は、知的障害を持つ子どもとその保護者で構成されています。

現在は６家族で活動しており、主に親子で参加できる行事を企画しています。

●**対　　象**　愛護手帳保有者及びその家族
●**年 会 費**　３，０００円
●**活動内容**
・親子ふれあい交流バス遠足（県内）
・障がい者ふれあいボウリング交流会
・上北郡愛の輪レクリエーション大会（ボウリング）

みなさまの善意に感謝

（令和元年１２月２１日～令和２年５月１日まで分）

・匿　　名　１０，０００円
・歌謡倶楽舞　円子正嗣　様　２０，０００円
・柳谷　光子　様　切手２１，９２８円分
・六戸町立六戸小学校　様　６，２３７円
・北見歌謡会　北見二郎　様　５０，７６０円
・新舞踊皐月会　佐々木定次郎　様　４５，０００円
・匿　　名　２０，０００円
・匿　　名　不織布マスク　１００枚
・八戸アールテック㈱　様（青森県社協善意銀行より）
消毒用酸性電解水１０リットル
・匿　　名　手作り布マスク　６８枚

▲北見歌謡会　様

たくさんの真心をお寄せいただき誠にありがとうございました。大事に使わせていただきます。

6月の行事予定

6月開催予定の
ふれあい・いきいきサロンは
中止させていただきます。

通目木、川原新田
上町、押込、金矢
みなみ、七百、大曲
小平・柳町、小松ケ丘

心配ごと相談日

■時間　9：00～12：00
■場所　六戸町老人福祉センター

期　日	相談員
6月　2日（火） 人権相談日	人権擁護委員 田澤孝三郎・坂本　りつ 竹島　敏男・苫米地正良
6月16日（火） 行政合同相談日	民生委員　鈴木　愛子 行政相談委員　田中　茂樹

※担当相談員は予告なく変更する場合があります。

3つの密を避けましょう

① 換気の悪い「密閉空間」
② 多数が集まる「密集場所」
③ 間近で話す「密接場面」

6月の老人福祉センター入浴事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止から入浴事業は休止していますが、状況により入浴を再開できると判断した場合は、ご連絡いたしますのでご了承ください。

鼻・耳つかみ体操 家でもできる脳の体操

自分の体の位置関係を判断する体操です。左右の動きを連続することで、空間認知力が鍛えられます。

①右手で鼻をつかみます。左手で右の耳をつかみます。

②顔の前で、手を１回たたきます。

③手を入れ替えて、左で鼻をつかみ、右手で左の耳をつかみます。①～③を30秒間続けましょう。

脳トレクイズ

最初の文字と最後の文字の間に３つ文字を入れ、自分で「しりとり」を完成させてね。（「が」⇒「か」でもいいよ）

【例】
桃太郎 → 海 → 店 → 背中 → カラス

【問題】
マスク → □ → □ → □ → 予防

【応募方法】
★ハガキ又は、メールにしりとりの答えを書いて、住所・氏名・年齢・**社会福祉協議会へのご意見又はご感想を一言書いて**お送りください。ご応募いただいた中から抽選で５名にクオカード500円分を差し上げます。

★応募〆切
令和２年６月５日（金）
※当日消印有効

★宛先　039-2371
六戸町大字犬落瀬字柴山３－９
六戸町社会福祉協議会行き
〈メール〉　rokunohe.shakyo.03@gaea.ocn.ne.jp